

主な内容	
一般質問議員と質問項目	1
一般質問から	2・3
主な質疑	3
12月定例会 議案等審議結果一覧	4



那須烏山市 Nasukarasuyama City

議会だより

発行
那須烏山市議会
編集
議会広報委員会
事務局
☎0287-88-7114



令和3年もよろしくお願い申し上げます。

12月定例会が11月30日(月)に招集され、12月8日(火)までの9日間の会期で行われました。提出された議案等の審議の結果は4ページに掲載しています。

※議決された議案の内容など、詳しくは「広報なすからすやま第184号」をご覧ください。
会議録は市立図書館と市ホームページで閲覧できます。

一般質問議員と質問項目(質問順)

※赤字の項目は、本紙2・3ページに質問と答弁の内容を掲載していますので、そちらもご覧ください。

村上 進一 議員

- 「なすからブランド」認証制度について
- 子どもの読書離れについて
- 子どものいじめ問題について
- コロナ禍のイベント実施について

相馬 正典 議員

- 新型コロナウイルス感染症対応について
- 令和3年度予算編成について
- 令和2年度、令和3年度の税収等について
- 清水川せせらぎ公園Bゾーンのリニューアルについて
- 令和元年台風19号による災害復旧について

渋井 由放 議員

- 議会解散について
- 庁舎建設の工程について
- 上水道施設の管理運営について
- ごみの収集について
- 烏山運動公園及び緑地運動公園の照明のLED化について

中山 五男 議員

- つくし幼稚園とここにこ保育園の統合について
- 旧南那須武道館の解体撤去時期等について
- 歴史民俗資料館の整備について
- 学校教育について

沼田 邦彦 議員

- 人口急減社会における公共施設のあり方について
- 旧境小学校跡地利用について
- 防災集団移転促進事業について

小堀 道和 議員

- 市民を元気づけるビジョンづくりについて
- 市民の安心と信頼感アップのコロナ対策について

青木 敏久 議員

- 魅力度向上対策、少子化対策としての「前から座ろう!条列策定」について
- ごみ集積所の整備及び高齢者ごみ出し支援について

興野 一美 議員

- 種子法廃止に伴う種子の値上げについて
- 米30万トン減産について

荒井 浩二 議員

- 押印の廃止について
- 公共用地の活用と賑わいの創出について

平塚 英教 議員

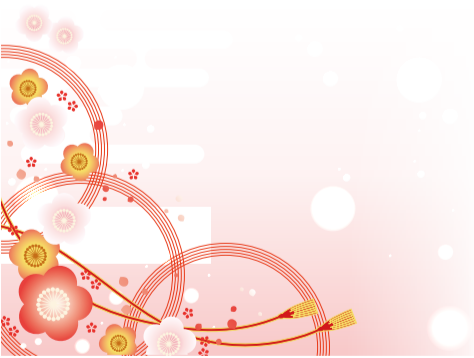
- 那珂川緊急治水対策プロジェクトについて
- 浸水想定区域の中小河川への対象拡大について
- 本市の農業振興について
- 選挙について
- 核兵器禁止条約について

矢板 清枝 議員

- 市道・県道・国道の整備状況について
- 福祉対策について
- 小中学校への学習支援について

- 那珂川緊急治水対策プロジェクトについて
- 浸水想定区域の中小河川への対象拡大について
- 本市の農業振興について
- 選挙について
- 核兵器禁止条約について

- 市道・県道・国道の整備状況について
- 福祉対策について
- 小中学校への学習支援について



議会の動き

令和2年10月
31日○議会だより第58号
発行

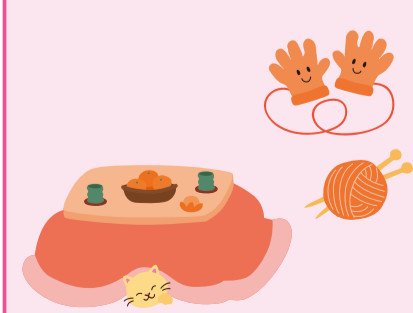
11月
18日○文教福祉常任委員会
会

24日○議会運営委員会
○議員全員協議会
○議会広報委員会
30日○第8回12月定例会
(12月8日まで)

12月
1日○議会広報委員会
2日○議会改革特別委員会
会

3日○総務企画常任委員会
会
○文教福祉常任委員
会

8日○議員全員協議会
令和3年1月
8日○議会広報委員会
18日○議会広報委員会
28日○議会運営委員会
○議員全員協議会



令和2年12月定例会 一般質問から

質問・答弁の内容は要約してあります。
一般質問の記事は各議員が作成しています。

村上進一議員

コロナ禍のイベント実施について

(問) 現在、各種イベントがコロナ禍によって中止となっている。今後、市主催のイベントはどのように取り組む方針か。また、各種団体のイベント実施についてどのように指導する方針か伺う。

(答) 多数の来場者が見込めるイベント、密閉空間に密集するような事業等は中止しているが、生涯学習施設、体育施設を利用する事業、いきいきサロン等の各種団体の事業は、規模を縮小し感染対策をしながら実施している。

また、施設利用者、イベント参加者の名簿を管理し、新型コロナウイルス感染症の拡大防止にも努めている。

今後も、国や県から示された感染拡大防止ガイドラインを基準とし、感染予防対策を行うことを前提に、市主催の事業も実施してい

中山五男議員

つくし幼稚園とここに保育園の統合について

(問) 両園を統合し、新たに認定こども園を令和5年度から開園する計画があり、今年度当初予算の中で設計委託料550万円を計上した。

計画策定内容、整備実施時期について伺いたい。

(答) 認定こども園化に向け、現在基本設計の策定を業者に委託し、費用や建設スケジュール等を精査している。工期は当初の計画から1年遅れて、令和6年度から認定こども園を開園したい。

(問) 二園統合には、つくし幼稚園の増改築が必要になると思われる。その概算事業費と財源内訳を伺いたい。

(答) 概算事業費は現在精査中であり、実施設計を策定したのち、議会に示したい。

財源は、国からの補助金が見込めないため、全額市が負担する。

(問) ここに保育園が廃止されたあと、建物1180平方メートル敷地3416平方メートルをいかに活用

青木敏久議員

魅力度向上対策、少子化対策としての「前から座ろっ!」条例「策定について」

(問) 人口減少は、静かなる有事である。若者の積極的行動を鼓舞することは、魅力度向上、少子化対策に有効であると考えられる。前に出られない県民性を逆手にとり、市民の積極的な行動を促すための「前から座ろっ!」条例「策定について」の見解を伺う。

(答) ご提案の条例等の策定については、現時点において条例制定までは考えてはいない。しかし、この閉塞感を打破するためには、発想の転換も必要であると感じている。

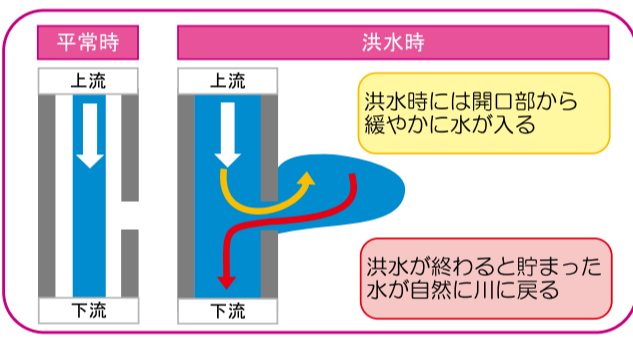
(問) 条例自体が、今回の都道府県魅力度ランキング最下位になったというピンチをチャンスに変える。条例そのものが、魅力の発信につながる最も有効で経費がかからない方策であると考えられる。検討していただきたいと思うが、考えを伺う。

(答) 前向きに考えていきたい。言葉としても面白い。議会の皆さんと一緒に考えていく条例であると認識している。いい方向に進めるように努力してまいり

平塚英教議員

那珂川緊急治水対策プロジェクトについて

(問) 国土交通省は、下境地区に「霞堤」を令和6年度までに整備を目指すとしているが、本市の那珂川緊急治水対策プロジェクトに対する考え及び本市の協力体制、事業の進め方を伺う。



(答) 国は令和元年東日本台風の被害を踏まえ、河川氾濫を防ぐ流域全体の治水対策を進めている。同プロジェクトでは、本市は下境地区に霞堤整備が予定され、令和6年度までの完成を目指している。市は国土交通省と連携し、霞堤の整備と併せ、土地利用、住まう方の工夫の治水対策、今後の進め方を理解いただくため、改めて住民説明会を開催する。

(問) 市は宮原・下境地区「防災集団移転促進事業」

相馬正典議員

新型コロナウイルス感染症対応について

(問) 感染者への誹謗中傷といった差別について、その対策について伺う。

(答) 本市では「新型コロナウイルス感染症に関する人権への配慮について」と題したチラシを、行政区長文書配付の際に全地区へ回覧し、市民の皆様へ、一人ひとりがお互いを思いやる気持ちを持って、冷静に行動することをお願いしている。感染された方やそのご家族、関係者の方々、そして医療施設従事者や介護福祉施設従事者などの、関係機関の皆様へ偏見や差別、誹謗中傷が起らないよう、さらに啓発に取り組んでまいりたい。

令和元年台風19号による災害復旧について

(問) 本年作付けできなかった農家に対する手厚い財政支援について、国、県に強く要望すべきではないかと考えるが、市長の考えを伺う。

(答) 国、県への要望については必要だと思っ

沼田邦彦議員

旧境小学校跡地利用について

(問) 下境地区住民の不安解消のためにも、公有財産である旧境小学校跡地の売却契約実情について伺う。

(答) 地元説明会の開催や災害時の避難所活用を条件として契約を締結し、令和2年12月末までに全額納付されれば、所有権が移る契約内容である。

(問) 早い時期に説明会を開催し、契約の一連の流れ等を説明し、住民の信頼回復に努めていただきたい。

(答) その通り対応したいと考えている。

防災集団移転促進事業について

(問) 集団移転事業と市長公約の新庁舎整備を取り組むにあたり、優先順位と同事業の位置付けについて伺う。

(答) 全ての事業の優先順位はつけられない。それぞれの事業に担当者がいるので上手に対応していきたい。

(問) 集団移転を進めていくうえで、同時に庁舎整備を進めることは市民感情から、とてもできないと思うがいかがか。

(答) 庁舎整備は今すぐ行うものではない。今後議員や市民の意見を吸い上げ、いい方向に結びつくよう努力していきたい。

興野一美議員

種子法廃止に伴う種子の値上げについて

(問) 種子法は、平成30年4月1日から廃止され、県においても原種価格の見直しを行い、3倍〜5倍に値上がりした。値上げの是正を市から関係機関に働きかけることはできないか伺う。

(答) 原種価格の値上がりは、種子生産農家にとって、大きな痛手となるが、全農とちぎ等が種子生産農家から買い取る価格に値上げ分を上乗せすることで、種子生産農家の負担増にならない対策がとられている。市としても、全農とちぎやJA等の農業関係団体と連携を図っていききたい。

米30万トン減産について

(問) 米の在庫は膨らむばかりで、米価は底なしの下落基調になるおそれがある。そこで、WCS及び飼料用米へ転換を推奨する考えはあるか伺う。

(答) 令和2年度の作付率は85%であり、被災農地を



飼料として使われているWCS(ホールクロップサイレージ)

含めても県が示す需要の目安内の生産値である。現状、WCSや飼料用米などの新規需要米への作付転換を推奨する必要はなく、令和3年度産についても、需要に合った主食用米の作付の推進を図っていきたい。

矢板 清枝 議員

市道・県道・国道の整備状況について

(問) 企業誘致や地域住民の生命と安全及び生活を守るためにも幹線道路の整備が必要だと考えるが、市としての考えを伺う。

(答) 本市は、東北自動車道や常磐自動車道と、近からず遠からずの距離にあり、企業誘致や物流にとっては、不利な状況である。

現在、東北自動車道につながる県道10号主要地方道宇都宮那須烏山線は、市内西側の小倉地区まで片側2車線の整備が計画されている。また、常磐自動車道につながる県道12号主要地方道那須烏山御前山線は、今後、上境地区の狭い箇所では県による改良工事が計画されている。

(問) 近隣市町や他県との連携が重要であり、協議会の設置について市の考えを伺う。

(答) 国道294号と国道293号は、それぞれ期成同盟会を結成し、整備改良を国に働きかけている。八溝地域は県内でも道路網の整備が遅れているため、国道294号建設期成同盟会の補完、強化のため、県議

会議員、栃木県東部の3市5町の自治体、商工会等が連携した、八溝地域道路整備促進同盟会を、平成28年に発足させている。

渋井 由放 議員

議会解散について

(問) 市長は、沼田広域議会議長に「このままでは議会を解散するようですよ」と話したと聞いたが、法的根拠があるのか伺う。

(答) 「解散をする」と言ったつもりはない。書類を回収したほうがよいのではと伝えたと思う。誤解があったとすればお詫びする。

(問) 回収と解散を聞き違えたかと思うが、広域議会の解散はできないと理解しているがどうなのか。

(答) 当然だと思う。

(問) 憲法93条で市長及び議員は直接選挙で選ばれると定めている。これを二元代表制と呼んでおり、議会の解散は、市長不信任案が可決された時となつてい

る。ところで、成人式の通知には、市議会議員は出席を求めず議長だけの出席を求めている。午前の部は市長と議長が挨拶し、午後の部は市長と県議が挨拶する。市の行事に議長が出席しているにもかかわらず挨拶をしないのは理解できない。二元代表制を理解していないのではないか。

(答) 二元代表制を一層加味し、必ず議員に行事等に出席していただくようにする。

小堀 道和 議員

市民の安心と信頼感アップのコロナ対策について

(問) 新型コロナウイルス感染の猛威により、いつクラスターが発生してもおかしくない状況にある。命に直結する医療・介護福祉関連施設のクラスター発生は防がねばならない。イン

ターパーク倉持呼吸器内科の倉持医師は、無症状感染者を見つければPCR検査は有効であり、安価なプール方式等もあるので、ぜひ実施すべきと力説された。モデル事業から拡大し、介護施設従事者への定期検査を行い、市民の安心感や信頼感を向上させるべきである。地元病院対応への期待も大きいが見解を伺う。

(答) 医療・介護施設従事者等の全てに定期検査を行うことは困難だと考える。今後、市内で感染者が多数発生した場合やクラスターが発生した場合には、国の指針と県の指示のもと、感染リスクの高い職業に従事者に一斉に定期検査を実施できるように準備を進めている。地元病院対応については、検査体制が整った場合でも、症状のある方を優先に実施すべきだと考えている。

その後、感染状況を見ながら医療・介護施設従事者等の検査を検討していく。

荒井 浩二 議員

押印の廃止について

(問) 政府のデジタル化推

進を踏まえ、県内他市でも行政手続において押印の簡略化や廃止が進んでいる。本市における検討と関係する取組について伺う。

(答) 現在、本市で押印省略可能となつている様式の場合には押印省略が可能と

したものの、合併後、その通りに例規が定められていない実情がある。今後は、国や県の動向を踏まえながら、本年発足した那須烏山市法務能力向上プロジェクトチームで検討を行い、可能なものから順次押印廃止を進め、行政手続の適正化を図って、行政サービスの向上に取り組んでいく。

公共用地の利活用と賑わいの創出について

(問) 屋外でスポーツを楽しむ身近な場所が少なく、子どもの体力低下が取り沙汰される中、市内の賑わいを創出出来るような運動器具を、例えばJR烏山駅前多目的広場や保健福祉センター駐車場等に設置することは可能か伺う。

(答) 公共施設用地で有効活用できるような場所については、関係課と今後協議していく。



イベントにも活用されているJR烏山駅前多目的広場

主な質疑

12月定例会での議員質疑の中から、主なものを要約して掲載しています。

那須烏山市土地利用適正化条例の制定について

議員 今まで条例ではなく規程で指導していた。今回は、条例化して1千平方

メートル以上の太陽光発電を加えると理解する。経済産業省の認定を受けていても、着工していないものは何件になるのか。

答弁 全て着工するとは限らないが8月31日時点で約300件が残っている。

議員 なぜ対象が1千平方メートル以上なのか、また太陽光発電で問題が発生しているのか。

答弁 49・5キロワット以上の事業系の太陽光発電は、場所にもよるが、おおむね600平方メートル以上なので1千平方メートル以上を規制対象とした。問題に関しては、大雨時に、土砂崩れや土砂の流入等の苦情を市でも受けている。

令和2年度那須烏山市一般会計補正予算(第59号)について

議員 国体開催整備事業費1132万7千円の内容について伺う。

答弁 緑地運動公園内の3カ所のトイレについて、洋式化の工事、外壁の塗装工事及び樹木の剪定・抜根等を予定している。



改修予定の緑地運動公園のトイレ

の架け替えを行う。橋の幅を4メートルから5メートルにする。

議員 ふるさと応援寄附金事業費が増額になったいるが、なぜ増額したのか伺う。

答弁 490万円ほど増額している理由としては、コロナ禍において、ふるさと応援寄附金に興味を持った方が増えてきているというのが全国的な傾向である。

議員 農地・農業用施設災害復旧事業費4945万4千円の事業内容について伺う。

答弁 台風19号の災害復旧にかかるもので、今までの予算に計上していなかった頭首工の本復旧工事、下川井地内にある橋梁復旧工事の委託料と工事請負費である。

また、14カ所分の市単独災害復旧事業費として建設工事関係の補助金200万円を計上している。

議員 新型コロナウイルス関係の臨時交付金関係について伺う。

答弁 4億9100万円ほど臨時交付金をいただいている事業もあり、合計で約5億2千万円の事業費が現在執行中である。

議員 公共土木災害復旧費の県への負担金1500万円はどのような内容か。

答弁 荒川に架かる落合橋



新たに追加された返礼品の梨

議員 障がい者介護給付、訓練等給付費は、当初予算で4億5200万円ほど計上し、今回6057万5千円を補正するが、なぜ補正を必要とするのか。

答弁 障害者手帳所有者で支援が必要な方が利用する各種サービスに対する扶助費となっている。利用者数の増加により、扶助費に不足が生じたために補正するものである。増加の理由としては、サービスを行う事業所が増えたことも一因と考えられる。

12月定例会 議案等審議結果一覧

(全会一致)

議案等		審議結果	議案等		審議結果
報告第1号	専決処分の報告について(損害賠償の額の決定及び和解について)	報告	議案第1号	令和2年度那須烏山市一般会計補正予算(第5号)について	可決
報告第2号	専決処分の報告について(損害賠償の額の決定及び和解について)	報告	議案第2号	令和2年度那須烏山市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について	可決
議案第10号	人権擁護委員候補者の推薦について	同意	議案第3号	令和2年度那須烏山市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について	可決
議案第7号	那須烏山市長、副市長及び教育長の給与及び旅費に関する条例の一部改正について	可決	議案第4号	令和2年度那須烏山市介護保険特別会計補正予算(第2号)について	可決
議案第9号	那須烏山市地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化を図るための固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正について	可決	議案第5号	令和2年度那須烏山市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)について	可決

(起立による採決)

議案等	審議結果	議員別賛否一覧																	
		青木敏久	興野一美	堀江清一	荒井浩二	福田長弘	村上進一	矢板清枝	滝口貴史	小堀道和	相馬正典	田島信二	渋谷由放	久保光一郎	沼田邦彦	中山五男	高田悦男	平塚英教	
議案第8号	那須烏山市職員給与条例及び那須烏山市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第6号	那須烏山市土地利用適正化条例の制定について	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○…賛成 ●…反対 退…退席 欠…欠席 ※ 掲載は採決順で久保居議長は表決に加わらない。 ※ 議案6号は、上程・質疑の後、関連する常任委員会に付託され、最終日に採決。

文教福祉常任委員会 研修報告



市学芸員から烏山城跡石垣の説明を受ける委員

当委員会は、10月20日と11月18日に市内現地調査を実施しました。秋晴れの清々しさに加え、我がまちに残る文化財の再確認ができたことは、コロナ禍ではありますが、とても良い時間となりました。

10月20日は、市学芸員の説明を受けながら、国史跡長者ヶ平官衙遺跡(附東山道跡)、旧七合中学校及び烏山城跡の文化財の現状と管理状況の確認をしました。長者ヶ平官衙遺跡の一帯は、八幡太郎義家の長者屋敷焼き討ちの伝承が語り継がれており、いまだに当時の焼米が出土します。

旧七合中学校には、旧烏山町と旧南那須町の郷土資料館から運び込まれた文化財が、所狭しと収蔵されていました。市内小中学校の児童生徒の見学や、貸し出しをしているとのことでした。

途中には、積み上げられた石垣が迎えてくれました。自然石をあまり加工せず、積み石として用いた野面積みが特徴なのだそうです。今では木々に覆われ城があつたとは思えません。まるで木々が城を外部から守っているように思いました。今後は、文化財を保護するだけでなく、新たな活用方法について当委員会でもしっかりと議論して検討していく考えです。

烏山城跡は足元が滑りやすく、何度も転びそうになりながら登りました。その

11月18日には、烏山中学校へ出向き、授業及び施設の見学と校長との意見交換をさせていただきました。

新型コロナウイルス感染症により休校した授業時間の不足をどう対応しているかをはじめ、読書活動についてなど何点かの質問に対して丁寧な答えていただきました。教育現場の現状等を実際に見ることで、市内中学校の状況を把握することができました。また、学校側から要望を受けるなど、とても有意義な機会となりました。

委員長 矢板 清枝



烏山中学校での意見交換会

12月定例会において審査された請願・陳情

番号	件名	紹介議員	審査結果
陳情書第3号	新型コロナウイルスに対する社会的検査について	なし	採択

10月臨時議会

10月23日(金)に招集され、市長より提出された議案は、全会一致で可決されました。その議案は左記のとおりです。

(全会一致)

議案等	審議結果
報告第1号	専決処分の報告について(損害賠償の額の決定及び和解について)
議案第1号	財産の取得について

12月定例会の本会議日程と傍聴者数

月日	内容	傍聴者数
11月30日(月)	開会・報告・上程・採決・付託	4人
12月1日(火)	一般質問	11人
12月2日(水)	一般質問	27人
12月3日(木)	一般質問	24人
12月8日(火)	報告・採決・閉会	2人
計		68人

議会を傍聴してみませんか

議会を傍聴することは、市政を知っていただく最も良い方法です。詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。(TEL 0287-88-7114)

3月定例会は、3月2日(火)開会予定です

正式な日程は2月24日(水)に開催される議会運営委員会で決定されます。

あしがき

『有漏路より無漏路へ 帰る一休み 雨降らば降れ 風吹かば吹け』
頓知で有名な「一休さん」こと、一休宗純の歌です。

高僧は、所詮、迷いの世界から、迷い苦しみのない世界へ帰るまでの一休みにすぎないのが人生だ、災難何するものぞ、と喝破します。

コロナ前、コロナ後に置き換えれば、今が一休みの時かも知れません。コロナ禍で疲弊した現状を思えば、「やまない雨はない」とは輕輕に言えません。雨にも風にも負けぬ勇気と知恵を養う時間としたいものです。

巷間に「一寸先は闇」と言われます。先が見えないと誰しも立ち止まなり、しゃがみ込みがちになります。先が見えないなかで踏み出す一歩は、とても勇気のいることです。「一寸先は光」に変わる一歩かも知れません。

年頭に処して、皆さまの弥栄をお祈り申し上げますとともに、「われは海の子」の歌詞よりエールを送ります。

『浪にたゞよふ氷山も 来らば来れ恐れんや 海まき上ぐるたつまさも 起らば起れ驚かじ』

(青木敏久議員)

